あだち区のNPO情報紙
第9号
知る 伝える つながる

A-Partners

編集・発行　平成26年1月22日　足立区NPO活動支援センター
〒123-0851 足立区梅田7-13-1（梅田図書館1階）TEL.03-3840-2331 Email npo-sc@adachi.ne.jp 担当所管：足立区 区民参画推進課区民参画支援係 TEL.03-3880-5020

みつけよう！みんなで楽しむ

わたしの居場所 あなたの居場所

掲載団体

特集1 アイ・サポート
見えなくたって怖くない、人生を楽しもう！

特集2 足立さくら会
高次脳機能障がいってご存知ですか？

わくわく INFORMATION イベント掲示板 冬

足立区

詳細は、各団体にお問い合わせ下さい。

竹の塚に地域住民が集う小さな部屋がオープン
「地域住民つどいの場 風（Param）」

個人利用、サークル利用、団体利用など使い方はさまざまです。パーティーや、おしゃべりタイム、一人でゆっくりくつろぎたい団体の勉強会や会議などにもご利用できます。一度ご見学にいらっしゃいませんか？

[場所]足立区竹の塚5-18-9-401
[設備]電子レンジ、トースター、炊飯器、ＩＨ調理器具、冷蔵庫、湯沸かしポットなど　※飲食は持ち込み自由
[定員]15名
[基本料金]２時間１０００円
[その他]毎月第２火曜日13時～15時ふれあいサロン「ほっとhouse」開催中
[問]０９０-６９５９-３５５４（武井）
[主催]ＮＰＯ地域住民集いの場　風（Ｐａｒａｍ）

多様化する家族の味方づくり交流会
「ゆる育カフェ」

多様化する家族と子育てを通じてゆる～く語る「ゆる育交流カフェ」です。肩の荷を降ろし、日々の子育ての味方づくりをしませんか？

[日時]２月１３日（木）１０時～１２時（途中出入自由）
[内容]それぞれの立ち位置にある方々が、子どもの発達や、子育てについての不安や迷い、どうしたらお互いに味方になれるかを考えていきます。
[場所]足立区ＮＰＯ活動支援センター（足立区梅田７-13-1）
[参加費]無料
[参加資格]誰でもＯＫ！子連れもＯＫ（保育はありません）
[問]０８０-５００８-２１３３（町田）
[主催]A-Ｓｔｅｐ
http://astep.bex.jp/

Every child is our child.
「日本語を母語としないこどもたちへの学習支援　説明会＆体験会」

日本語を母語としない子どもたちへの日本語習得および学習支援等をしている２つの団体が、日本語とタガログ語にて活動を紹介します。

[日時]２月８日（土）14時～16時
[場所]足立区ＮＰＯ活動支援センター（足立区梅田７-13-1）
[内容]①講演会「日本語を学習するために」、②団体の活動説明、③遊びを通しての日本語学習を体験
[参加費]無料
[問]toiawase@liaison-adachi.com
[共催]足立区の子どもの学びを支援する会 Liaison∞Adachi
http://liaison-adachi.com/　こども日本語教室あそぼ

起業家＆芸術家支援イベント
「スプリング市２０１４」

足立区内の女性起業家や芸術家がブースを出し、販売やワークショップなどで事業をＰＲします。ミニコンサートもありますので、ぜひお越しください。

[日時]２月９日（日）11時～18時
[場所]シアター１０１０　アトリエ（足立区千住３-92　10F）
[出店]手づくり品制作・販売、メイクボランティア、茶道体験、手相占い、カフェ、ミニコンサート、等
[問]０９０-１６６５-８３４９（小池）
[主催]ＮＰＯ法人アントレネットあだち
[後援]足立区

A-Partnersの設置場所

■主な設置場所
足立区内の図書館、住区センター、地域学習センター、生涯学習センターなどの各種行政施設に設置しています。

■設置協力店
- ●アリオ西新井（西新井栄町）
- ●アロマサロン　Regalo（千住仲町）
- ●イトーヨーカドー竹の塚店（竹の塚5丁目）
- ●ASP-スポーツジム（中央本町2丁目）
- ●カラオケルーム花絵（千住旭町）
- ●家庭料理の店　夢（西綾瀬2丁目）
- ●ザ・プライス千住店（千住3丁目）
- ●ザ・プライス西新井店（興野1丁目）
- ●サミット保木間店（保木間1丁目）
- ●サミット五反野店（中央本町2丁目）
- ●上海亭（足立4丁目）
- ●喫茶マロニエ（西綾瀬2丁目）
- ●喫茶ふる～と（梅島1丁目）
- ●ドラゴンゲート（千住2丁目）
- ●ヘアーサロン・チャタニ（東和2丁目）
- ●まごころ居酒屋　Tampopo（千住東1丁目）
- ●山形食彩　味香和（竹の塚1丁目）
- ●和だいにんぐ　ぶ～の（中央本町2丁目）

■区民レポーター募集のお知らせ

NPO情報紙A-Partnersは、たくさんの区民ボランティアによって作成されています。区内のNPO団体などを訪問取材し、原稿の作成と写真撮影などをします。一緒に活動してみたい方、関心のある方は当センターにお問い合わせください。

[対象] 足立区在住、メールアドレスのある方、月2回程度の打ち合わせに出席できる方
[申込]作文「足立区の魅力について」400文字をメールにてお送りください。
npo-sc@adachi.ne.jp　担当:足立区NPO活動支援センター　黒川

■配布場所を募集しています！
A-Partnersを店舗や施設に置いてみませんか?本紙・送料とも無料にてお送りいたします。詳しくは、足立区NPO活動支援センター（電話03-3840-2331）までお問い合わせください。

A-Partnersは区民が発信している情報紙です。

編集部：篠崎 廣志、白男川 和典、菅井 智子、関 房江、髙橋 民夫、井上 太郎、秋本 とし子、増元 忍、染谷 江里

感想をお寄せください♥ 区民レポーターも募集中です
〒123-0851　足立区梅田7-13-1（梅田図書館1階）
足立区NPO活動支援センター
Tel: 03-3840-2331
Eメール: npo-sc@adachi.ne.jp

アイ・サポート

見えなくたって怖くない、人生を楽しもう！

小春日和の日差しの中、窓から取材陣を見つけて声をかけてくださったのは、視覚障がい者移動介護とデイケアサービスの民間NPO法人　アイ・サポート代表の三谷求さん。縁あって、視覚障がい者の方と接する内に、彼らにとって必要なことができる場所を「自分で運営してみたらどうだろう？」と思い、調べてみると設立できる確信を得た為、実行に移されたそうです。

所内に入ると、三谷さんの笑顔そのもののように明るく和やかなムードの中、デイサービスのみなさんが手芸をされていました。ウォールポケットなどを編んでいます。6人の参加者に対し、4人のヘルパー。手取り足取りできる状況なので、手芸をするのに気をつけるのはハサミに鈴をつけて在所を明らかにすることぐらいだそう。イチゴ狩りに始まり、エイサーの稽古と慰問公演、工場見学、クリスマス会など盛りだくさんの年間行事。その際も、各ヘルパーさんの目が行き届く範囲の人数で行動をされていて何も怖い事はないとの参加者談。

デイサービスの内容も行事に劣らず、彩り豊か。手芸、ハンドベル、フラワーアレンジメント、コーラスなど、「やってみたい！」から始まって、メニューは無限大。区内どころか全国でも一二を誇る利用率というのも頷けます。

ヘルパーの派遣とデイサービスが活動の二本柱ですが、養成にも力をいれています。中でも特筆が、足立区公益活動げんき応援事業助成金を受けて開催している、音声ガイド製作者養成研修と、音声ガイド付き映画鑑賞会。全8回の研修を経て、出来上がった作品を上映しました。台詞の合間に行なわれている動作や、画面の動きを音声で案内することでバリアフリー映画上映を実現したのです。

年に1回程、聴覚障がい、知的障がい、高次脳機能障がいなど各サポート団体の5団体と共に防災訓練行事も行なっています。若い内から様々な障がいを知ってもらえるよう、中学生を主眼においた内容になっているそうです（本年度詳細は下記イベント情報参照）。

「目が悪いと、皆さんにご迷惑…」と引きこもりがちになってしまう方も多いですが、代表曰く「うちはみんな目が見えませんから（ご心配なく）」とのことです。

（増元忍）

代表
三谷　求さん

■お問い合わせ先
NPO法人 アイ・サポート
足立区興野2-24-18-101
Tel: 03-3899-0071
Fax: 03-6803-1187
Eメール: iris101eye@yahoo.co.jp
HP: http://www.geocities.jp/aisuppo/

デイサービスで評判の美味しいお食事

足立さくら会

高次脳機能障がいってご存知ですか？

脳の病気や事故など、様々な原因で脳の一部が損傷を受けた結果、言語や記憶・感情などの機能に障がいが起きている状態を高次脳機能障がいと言う。これにより、日常生活に様々な支障が生じ、また外見上は分かりにくいため、周囲の理解を得にくく、本人や家族の負担も大きなものになっている。

足立さくら会は平成13年に活動を始め、高次脳機能障がいを持つ当事者や家族の課題解決を目的に、相談支援、デイサービス運営、講演活動などを行っている。

スタッフによって、かいがいしく清掃された気持ちの良いデイサービス（ピア・さくら）で、理事長の渕脇美佐子さんにお会いした。インタビューの間にも次々に利用者が来所。週3日のデイサービスには、読み聞かせ、料理、散歩、押花はがき等、様々なプログラムも用意されている。

――活動のきっかけは？

「主人が36歳の時、脳出血で倒れました。それで、高次脳機能障がいの講演会を聞きに行って、同じ立場の家族の方々と知り合ったことです」

――高次脳機能障がいというのは、すぐにわかったのですか？

「いいえ。倒れる前に働いていた職場の話なんかはするのに、手を洗って滴をポタポタたらしながら、拭くってことがわからないんです。家族も何が起きているのか、不安で仕方のない状況でした」

――それで、家族同士の集まりが必要だったんですね。

「うちもそうよ、なんて話すと安心できましたし、徐々にでも回復している様子を聞くと希望が持てました。だから、他の同じ境遇の人たちにも、この輪を広げていきたいと思ったんです」

――それにしても、しっかりとした活動を12年間も地道に続けておられるというのは、大変な努力だと思いますが。

「いえ、いっしょにやってくれるメンバーがいますから」

人手も資金集めも大変なはずなのに、渕脇さんはそう答えた。

高次脳機能障がいはまだ認知度が低く、なかなか理解されづらい。「あそこのうちには変な人がいる」と言われ、当人や家族が悲しい思いをしないように、この障がいを多くの人に知ってもらう必要がある。そこを見据えて、渕脇さんは昨年から高次脳機能障がいサポーター育成研修も開催している。

（秋本とし子）

代表
渕脇 美佐子さん

■お問い合わせ先
NPO法人 足立さくら会
足立区一ツ家3-2-16
Tel&Fax: 03-5856-5724
Eメール: adatisakurakai@yahoo.co.jp
HP: http://www.sepia.dti.ne.jp/adatisakurakai/

平屋のやさしい外観

生まれたてNPO

愛着あだちの会

足立区の地域デビュー大学卒業生4名で当初結成された「愛着あだちの会」。特に区政への関心が高い皆さんは、2012年3月から1年間、自主的に月に一度カフェに集まり、区の資料を研究分析、勉強会を開いてきた。

ある日、こんな一人の区民の声を聞いた。

「足立区は犯罪が多いというイメージが強いが、一度も危険なまちと感じたことがない。どうしてそのような事を言われるのか？区民として何かイメージアップに貢献できることはないか？」

この声をきっかけに、2013年から新たな活動を始めた。現在足立区がイメージアップに向けて取り組んでいる活動の一つ「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認識、理解を深めて、区民に向けた小冊子を作ろうと、月に一度NPO活動支援センターに集まって喧々諤々と意見を交わし編集会議を行っている。

会員は企業をリタイアした男性、女性の元税理士、主婦、足立区行政評価委員、町会役員、大学講師など多彩な顔ぶれがそろう。

「自分たちの住む足立区を少しでも美しく安全な街に、区民の皆が愛着を持って住めるよう、区民の目線で解り易く伝えるものを作りたい」皆さんはそんな思いを持ってこの会に参加しているそうだ。

会員は現在7名。2014年春頃に小冊子の創刊と、「ビューティフル・ウィンドウズ運動」のシンポジウム開催を目指している。

（染谷江里・篠崎廣志）

代表：斉藤善久さん

■お問い合わせ先
足立区六月1-15-15-105
Tel: 03-3850-7687
Fax: 03-3850-7687
Eメール:
zenq@khaki.plala.or.jp

アイ・サポートのイベント情報

「中学生と一緒に考える地域の絆」

災害時に障がい者など弱者の孤立を防ぐためには地域ネットワークが必要です。足立区の次世代を担う中学生と一緒に、様々な障がい体験を通し障がいの持つ不自由さ不便さへの理解を深め、ネットワークの要になって頂くためのイベントです♪

[日時]3月15日(土) 13時～16時
[内容]アイマスクや車イスなどで障がい疑似体験、様々な障がい者との交流、災害時を想定した食事会、等
[場所]竹の塚地域学習センター
(足立区竹の塚2-25-17)
[主催]NPO法人アイ・サポート、NPO法人足立区ろう者福祉推進合同委員会、NPO法人足立さくら会、あだち日曜教室を育てる会、子どもを地域でサポートする会 キラリン
[後援]足立区

足立さくら会のイベント情報

「ミニバザーの開催」

日頃よりお世話になっている地域の皆さま、及び関係者の皆さまへの感謝をこめて開催します！どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。掘り出し物があるかも！？

[日時]3月23日(日)
10時～14時(雨天決行)
[場所]足立区青井3-8-31
[販売品]押し花ハガキ、ポケットティッシュケース、コースター2種など、高次脳機能障がい者の手作り品や日用雑貨。
[問]03-5856-5724
(月・火・木 9時～16時)

バザーで得た資金は団体の活動費となります。